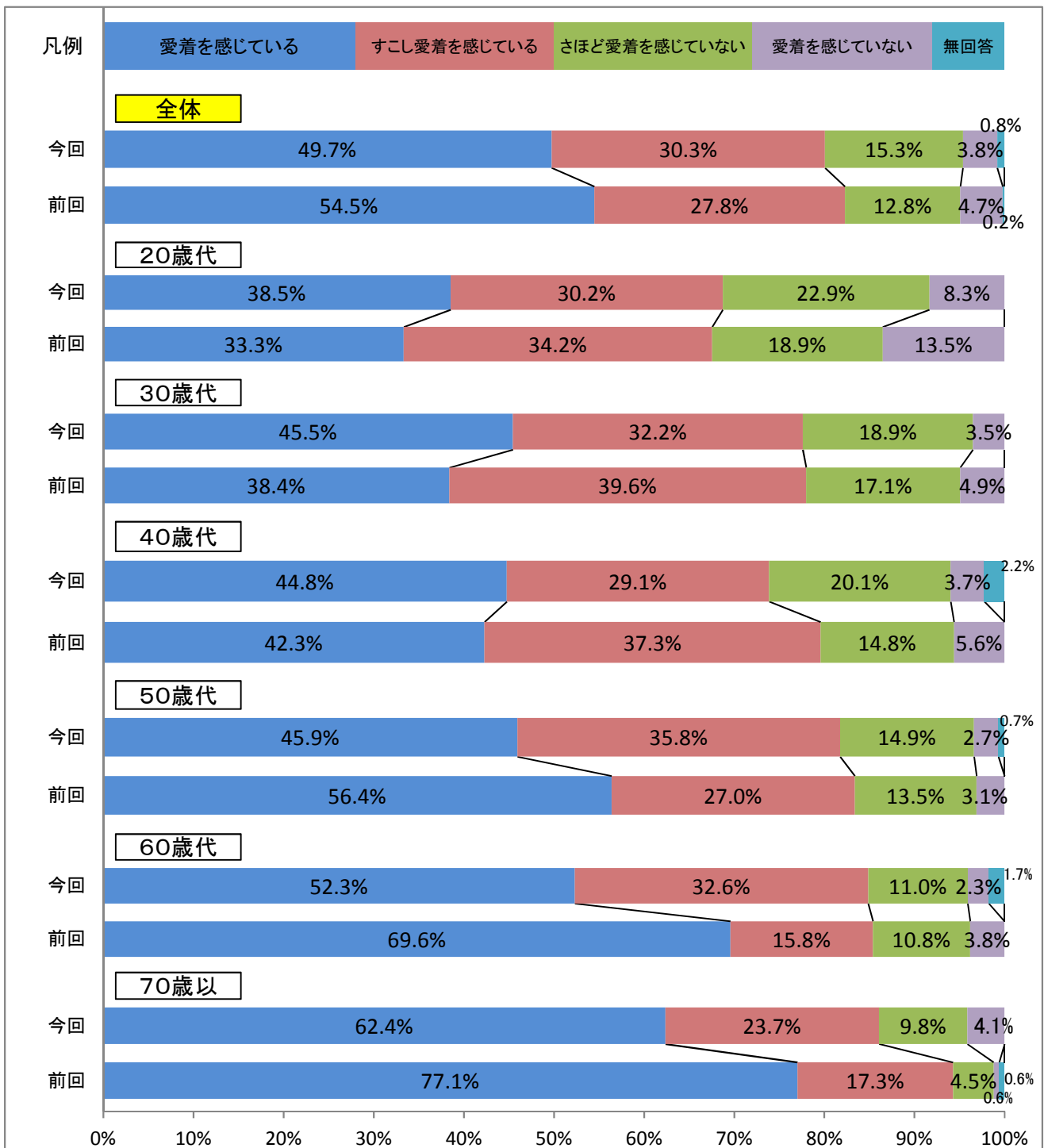


■高根沢町に対する愛着

※今回(平成25年度)と前回(平成21年度)との比較



今回の調査では、「愛着を感じている」が49.7%、「すこし愛着を感じている」が30.3%であり、前回の調査の「愛着を感じている」の54.5%と「すこし愛着を感じている」の27.8%と比較して大きな変化はありません。

また、「愛着を感じていない」人の割合は前回と比較して4.7%から3.8%と減少しましたが、「さほど愛着を感じていない」と合わせて愛着を比較すると割合は増加しており、いかにして町民の皆さんから親しみやすく愛される町にしていくかが課題としてあげられます。

年代別で見ると、高い年齢層に比べ低い年齢層での愛着が低い結果になっている傾向を示しているが、前回の調査と比較してみると、「愛着を感じている」割合が「20歳代」「30歳代」「40歳代」は高くなって、低い年齢層(若い年代)が愛着を感じつつあり、その一方で「50歳代」「60歳代」「70歳以上」の愛着が薄れつつあります。

この高い年齢層の町民の愛着が薄れつつある理由を把握し、低い年齢層の町民の愛着をさらに高めていくためには何が必要なのか見極め、新たな地域経営計画策定に向けて、行政として明確な方向性を示していく必要があります。